

平成27年度 聖ドミニコ学園中学高等学校自己評価

平成25年度の学園の教育方針で示された「ドミニコと共に真理を求め、自由に生きる」に基づいて、次の3項目を教育目標として立てた、

1. 一人ひとりを大切にする 2. 自発性を育てる 3. 豊かな関わりを育てる
これらの目標達成のために、具体的な目標をたてて取り組んできた。

1. 一人ひとりを大切にする

生徒、保護者との信頼関係を深めるためにあらゆる機会に関係性を大切にしていくことに高い自己評価を出している。生徒に対しては、生徒の個性を尊重し、それぞれに与えられているタレント(恵み)に気づき自己実現を目指す本校の教育方針が、教員に十分理解され浸透していることを示している結果である。本校の温かい家庭的な雰囲気は、保護者との関わりを深めながら、学園の教育環境の大切な特色として益々重要視していくものである。

2. 自発性を育てる

生徒の基本的な生活習慣は概ね良好であり、授業態度も真剣で、教員の指導が十分行われていることが評価に表れている。調べ学習や自由研究の機会を増やし、自発的に探求する喜びと可能性を引き出すために、授業のITを活用するなど、能動的な授業形態を取り込み、自発性を育てるためのチャンスを作るように指導している。高校生の段階では、進路に向けて早い段階から進路について考える機会をもち、目標に向けて一層の自学自習の成果を高め向上心に繋げていく指導力を強めていきたい。

3. 豊かな関わりを育てる

社会との豊かな関わりを持てるよう、学校では進んで挨拶し、委員会活動や当番活動を通じて、周囲への配慮、協力、責任を学ぶことが指導されている。社会参加の機会を増やすために、ボランティア精神の拡大と高揚がさらに求められ、被災地ボランティア活動など具体的な活動の推進を図り、校内外のボランティア活動の情報を提供し、奉仕の精神を培う機会を作り出すことに努めたい。